

## 2022年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月13日  
東

上場会社名 株式会社ジェーソン 上場取引所  
 コード番号 3080 URL https://jason.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長 (氏名) 太田万三彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 山田仁夫 (TEL) 04-7193-0911  
 定時株主総会開催予定日 2022年5月26日 配当支払開始予定日 2022年5月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年5月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年2月期の連結業績(2021年3月1日~2022年2月28日)

## (1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	26,275	△1.0	872	△30.1	916	△28.9	570	△29.2
2021年2月期	26,549	8.9	1,247	67.1	1,289	63.3	805	63.5
(注) 包括利益	2022年2月期		570百万円(△29.2%)		2021年2月期		805百万円(63.5%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年2月期	44.49	—	11.3	9.5	3.3
2021年2月期	62.87	—	17.9	14.3	4.7
(参考) 持分法投資損益	2022年2月期	—百万円	2021年2月期	—百万円	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期	9,742	5,251	53.9	409.89
2021年2月期	9,549	4,847	50.8	378.39
(参考) 自己資本	2022年2月期	5,251百万円	2021年2月期	4,847百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年2月期	362	△152	△230	3,439
2021年2月期	1,117	△140	△169	3,459

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年2月期	—	0.00	—	13.00	13.00	166	20.7	3.7
2022年2月期	—	0.00	—	13.00	13.00	166	29.2	3.3
2023年2月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00		27.8	

## 3. 2023年2月期の連結業績予想(2022年3月1日~2023年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,100	3.6	610	1.1	630	0.0	370	0.0	28.88
通期	27,000	2.8	960	10.1	1,000	9.1	600	5.3	46.83

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期	12,812,000株	2021年2月期	12,812,000株
② 期末自己株式数	2022年2月期	280株	2021年2月期	280株
③ 期中平均株式数	2022年2月期	12,811,720株	2021年2月期	12,811,720株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年2月期の個別業績（2021年3月1日～2022年2月28日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期	26,283	△1.0	893	△28.8	939	△27.7	589	△28.9
2021年2月期	26,553	8.9	1,255	69.4	1,299	65.2	829	69.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年2月期	46.01		—					
2021年2月期	64.71		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
2022年2月期	9,717	5,247	54.0	409.60		
2021年2月期	9,473	4,824	50.9	376.60		

(参考) 自己資本 2022年2月期 5,247百万円 2021年2月期 4,824百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化により予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料4ページ(今後の見通し)をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2021年3月1日～2022年2月28日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が続かなか、正常化に向かう動きがみられたものの、新たな変異株による感染再拡大により未だ収束が見通せず、また、エネルギー価格や原材料価格の高騰による物価高の懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

小売業界においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、衛生関連商品、食料品及び日用品の需要は引き続き堅調に推移したものの、前年同期に急増した巣ごもり消費需要の反動減や消費者の生活様式の変容、根強い節約志向が一層進んでいるほか、大型の合併・買収を中心に業界再編の動きが加速しており、経営環境は大きく変化しようとしております。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、「人々の生活を支えるインフラ(社会基盤)となる」という企業理念の下、より低価格の生活必需商品群の品揃えを強化し、コンビニエンス性の高い、地域における生活便利店としての機能を果たすべくローコストでの店舗運営により注力して参りました。

当連結会計年度においては、2021年7月に茨城県笠間市の「笠間店」、2021年8月に埼玉県東松山市の「東松山店」、2021年11月に千葉県東金市の「東金店」、2021年12月に群馬県太田市の「太田西本町店」、計4店舗が開店し、直営店舗数は108店舗となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による反動減は一部にみられたものの、新規PB商品である「尚仁沢の天然水」の販売を全店舗で開始したほか、各店舗において新たにJCB取り扱いを開始するなど着実に営業施策を推進いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は26,275,178千円(前期比1.0%減)、営業利益は872,316千円(同30.1%減)、経常利益は916,448千円(同28.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は570,045千円(同29.2%減)となりました。

なお、当社グループにおいては、小売事業以外の重要なセグメントはありませんので、セグメント情報の記載を省略しておりますが、当連結会計年度の販売実績を商品部門別及び地域別に示すと、次のとおりであります。

## (商品部門別販売実績)

商品部門の名称	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
衣料服飾・インテリア	643,410	95.2
日用品・家庭用品	6,375,776	94.9
食料品	16,548,437	101.6
酒類	1,351,248	89.8
その他商品	2,440	120.3
小売事業小計	24,921,312	98.9
その他営業収入	1,353,865	99.3
合計	26,275,178	99.0

(注) 本表の金額に、消費税等は含まれておりません。

## (地域別販売実績)

地域の名称	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	
	売上高 (千円)	前年同期比 (%)
千葉県	8,512,464	97.9
東京都	6,579,104	97.1
埼玉県	5,870,405	102.7
茨城県	3,038,137	95.4
栃木県	605,787	110.5
群馬県	315,413	119.0
小売事業小計	24,921,312	98.9
その他営業収入	1,353,865	99.3
合計	26,275,178	99.0

(注) 本表の金額に、消費税等は含まれておりません。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産については、前連結会計年度末に比べ193,295千円増加し、9,742,431千円（前期比2.0%増）となりました。これは主に、商品及び製品が114,271千円、売掛金が54,118千円、敷金及び保証金が19,938千円増加したこと等によります。

負債合計については、前連結会計年度末に比べ210,197千円減少し、4,491,059千円（同4.5%減）となりました。これは主に、未払法人税等が239,364千円減少したこと等によります。

純資産合計については、前連結会計年度末に比べ403,492千円増加し、5,251,371千円（同8.3%増）となりました。これは、利益剰余金が403,492千円増加したことによります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ20,352千円減少し3,439,130千円となりました。各キャッシュ・フローの主な増減要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは362,438千円の収入（前年同期は1,117,127千円の収入）となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益の計上が899,371千円、減価償却費の計上が168,430千円、仕入債務の増加額が21,654千円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額が574,647千円、たな卸資産の増加額が115,289千円、売上債権の増加額が54,118千円あったこと等によります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは152,550千円の支出（前年同期は140,878千円の支出）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入が168,043千円あったものの、定期預金の預入による支出が192,060千円、有形固定資産の取得による支出が85,485千円、敷金及び保証金の差入による支出が49,144千円あったこと等によります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは230,241千円の支出（前年同期は169,432千円の支出）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入が500,000千円あったものの、長期借入金の返済による支出が510,419千円及び配当金の支払額が166,363千円あったこと等によります。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しについては、引き続き業種・業態を超えた競合の激化が継続しており、また新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、個人消費を取り巻く環境は依然厳しい状況が続くものと予想されます。加えてロシアのウクライナ侵攻による国際経済の不安定化、エネルギー価格や原材料価格の高騰など、先行きは非常に不透明な状況です。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、「人々の生活を支えるインフラ（社会基盤）となる」という企業理念の下、更なるローコスト経営の推進による生産性向上と、適切な出店やセールスプロモーションの多様化などに注力して参ります。また、当社P B商品である「尚仁沢の天然水」の生産体制の拡大を一層進め、当社主力商品へ育成していく所存です。

次期の業績につきましては、売上高は270億円（前期比2.8%増）、営業利益は9億60百万円（同10.1%増）、経常利益は10億円（同9.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は6億円（同5.3%増）を見込んでおります。

なお、エネルギー価格や原材料価格の高騰に起因するコスト増が当社グループの業績に影響を与える可能性があります。その影響度合いを現時点で算定することは困難であるため、見込んでおりません。

今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準により連結財務諸表を作成しております。将来の国際財務報告基準（I F R S）の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,681,119	3,684,783
売掛金	430,343	484,461
商品及び製品	1,876,814	1,991,086
原材料及び貯蔵品	15,158	16,177
その他	206,689	211,007
流動資産合計	6,210,126	6,387,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,142,477	2,205,736
減価償却累計額	△1,489,506	△1,551,703
建物及び構築物(純額)	652,970	654,033
機械装置及び運搬具	233,075	237,094
減価償却累計額	△184,978	△208,822
機械装置及び運搬具(純額)	48,097	28,271
工具、器具及び備品	392,368	394,477
減価償却累計額	△321,126	△344,796
工具、器具及び備品(純額)	71,242	49,681
土地	1,105,718	1,105,718
リース資産	220,361	247,675
減価償却累計額	△128,557	△113,062
リース資産(純額)	91,803	134,612
建設仮勘定	3,444	3,255
有形固定資産合計	1,973,277	1,975,573
無形固定資産		
のれん	1,245	1,130
その他	160,507	158,272
無形固定資産合計	161,752	159,402
投資その他の資産		
敷金及び保証金	932,308	952,247
繰延税金資産	119,451	126,468
その他	152,219	145,973
貸倒引当金	—	△4,750
投資その他の資産合計	1,203,979	1,219,939
固定資産合計	3,339,009	3,354,915
資産合計	9,549,135	9,742,431

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当連結会計年度 (2022年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,102,190	2,123,845
短期借入金	200,000	196,000
1年内返済予定の長期借入金	399,960	381,209
リース債務	47,477	56,625
未払金	356,281	341,288
未払法人税等	376,410	137,045
賞与引当金	36,552	37,268
資産除去債務	2	1,324
その他	260,914	201,184
流動負債合計	3,779,789	3,475,790
固定負債		
長期借入金	131,105	139,437
リース債務	94,104	123,513
繰延税金負債	12,394	7,612
役員退職慰労引当金	335,189	357,183
退職給付に係る負債	183,221	198,954
資産除去債務	145,520	169,436
その他	19,931	19,131
固定負債合計	921,467	1,015,269
負債合計	4,701,257	4,491,059
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	320,300	320,300
資本剰余金	259,600	259,600
利益剰余金	4,268,035	4,671,528
自己株式	△57	△57
株主資本合計	4,847,878	5,251,371
純資産合計	4,847,878	5,251,371
負債純資産合計	9,549,135	9,742,431



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
売上高	26,549,119	26,275,178
売上原価	19,395,734	19,373,266
売上総利益	7,153,384	6,901,911
販売費及び一般管理費	5,906,093	6,029,595
営業利益	1,247,291	872,316
営業外収益		
受取利息	3,122	2,623
受取手数料	20,040	19,096
固定資産賃貸料	12,255	12,038
情報提供料収入	6,049	6,049
その他	5,639	8,763
営業外収益合計	47,107	48,571
営業外費用		
支払利息	3,756	3,003
固定資産賃貸費用	1,532	1,435
その他	7	—
営業外費用合計	5,296	4,438
経常利益	1,289,101	916,448
特別損失		
減損損失	5,836	17,076
特別損失合計	5,836	17,076
税金等調整前当期純利益	1,283,265	899,371
法人税、住民税及び事業税	472,720	341,125
法人税等調整額	5,115	△11,799
法人税等合計	477,835	329,326
当期純利益	805,430	570,045
親会社株主に帰属する当期純利益	805,430	570,045

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
当期純利益	805,430	570,045
その他の包括利益		
包括利益	805,430	570,045
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	805,430	570,045

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	320,300	259,600	3,577,910	△57	4,157,753	4,157,753
当期変動額						
剰余金の配当			△115,305		△115,305	△115,305
親会社株主に帰属する当期純利益			805,430		805,430	805,430
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—
当期変動額合計	—	—	690,124	—	690,124	690,124
当期末残高	320,300	259,600	4,268,035	△57	4,847,878	4,847,878

当連結会計年度(自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	320,300	259,600	4,268,035	△57	4,847,878	4,847,878
当期変動額						
剰余金の配当			△166,552		△166,552	△166,552
親会社株主に帰属する当期純利益			570,045		570,045	570,045
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—
当期変動額合計	—	—	403,492	—	403,492	403,492
当期末残高	320,300	259,600	4,671,528	△57	5,251,371	5,251,371

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,283,265	899,371
減価償却費	181,495	168,430
減損損失	5,836	17,076
のれん償却額	19	115
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	4,750
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,435	715
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	20,625	21,993
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,483	15,732
受取利息	△3,122	△2,623
支払利息	3,756	3,003
売上債権の増減額(△は増加)	△19,568	△54,118
たな卸資産の増減額(△は増加)	△280,089	△115,289
仕入債務の増減額(△は減少)	116,656	21,654
未払金の増減額(△は減少)	7,074	△4,419
その他	75,977	△38,929
小計	1,402,843	937,464
利息の受取額	3,120	2,621
利息の支払額	△3,744	△2,999
法人税等の支払額	△285,091	△574,647
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,117,127	362,438
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△168,048	△192,060
定期預金の払戻による収入	144,032	168,043
有形固定資産の取得による支出	△27,082	△85,485
無形固定資産の取得による支出	△3,916	△150
資産除去債務の履行による支出	△1,923	△3,520
敷金及び保証金の差入による支出	△20,851	△49,144
敷金及び保証金の回収による収入	40,137	10,838
事業譲受による支出	△107,686	—
その他	4,459	△1,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,878	△152,550
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,000	△4,000
長期借入れによる収入	500,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△506,253	△510,419
リース債務の返済による支出	△45,961	△49,458
配当金の支払額	△115,217	△166,363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,432	△230,241
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	806,817	△20,352
現金及び現金同等物の期首残高	2,652,665	3,459,482
現金及び現金同等物の期末残高	3,459,482	3,439,130

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループにおいては、小売事業以外の重要なセグメントはありませんので、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)		当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)	
1株当たり純資産額	378円39銭	1株当たり純資産額	409円89銭
1株当たり当期純利益	62円87銭	1株当たり当期純利益	44円49銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)	当連結会計年度 (自 2021年3月1日 至 2022年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	805,430	570,045
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	805,430	570,045
期中平均株式数 (株)	12,811,720	12,811,720

(重要な後発事象)

該当事項はありません。